

ブドウ「高尾」の早期成園化・安定生産に向けた栽培技術の確立（1年延長）

【背景と目的】

ブドウの特産品種「高尾」は、高樹齢などの影響により樹勢が低下し、生産量の低下や着色不良果など問題となっている。そこで、改植に向けて根域制限栽培やコンパクトな樹形の栽培技術開発を行い早期成園化および省力で高品質な安定生産技術を確立する。

【研究概要】

（1）新たな栽培方式の検討

①早期成園化の評価

②安定生産技術の検討

<試験方法>

東京型拡大根圏制御と短梢剪定を組み合わせ、結果母枝の芽数を5芽にすることで生産できることを令和2年～5年で確認できた。芽数を他品種と同等の1～2芽で生産が安定するか令和7年まで1年間試験期間を延長して検証する。

<調査項目>

生育特性（枝・花芽）、収穫量、果実品質、作業性

③経営評価

（2）優良系統の選抜

①現地優良系統の評価・選抜

<選抜系統>

稲城3系統+原木1系統（農総研）

<選抜基準>果皮色>1粒重>糖度・酸度